

給食の時間を利用して、中学生との懇談を行いました。平成27年1月23日に行った北中学校3年1組での懇談の際の質問内容について紹介します。

質問

なぜ、市長になったのですか？

市長

東日本大震災が起きたとき、東北地方の仲間から、「食べ物が足りない」「子どもたちに甘いものを食べさせたい」とSOSがあって、すぐにトラックに物資を積んで被災地まで行った。

そのとき、家も子も孫も流されてしまった自分と同じ世代のおじさんたちが、

「自分の力で故郷を復興したい！」と話しているのを聞いて、自分も故郷・長久手のためにできることがあるんじゃないかと思ったから。



質問

今まで一番楽しかったことは何ですか？

市長

今が一番楽しい。今日、こうしてみんなと給食を食べて、話ができることも楽しいなあ。

今は、みんな、「高校に入ったら…」とか、「この大学に入ったら、大きな会社に入って…」とか先の事ばかり心配しているけれど、先のことばかり心配しても、そのときに生きているか分からない。

というのも私には、兄が4人いたんだけど、みんな大きくなる前に死んでしまった。母親は辛かっただろうなあ。だから、とにかく私には、元気に長く生きて欲しかったんだと思う。毎日、「ご飯食べたか？」

「もう寝ろ」と言われて育った。「勉強しろ」とは言われなかった。

私の母親は、今、100歳だけれども、今でも毎日、「どこに行くんだ？」「声がかれている。風邪じゃないか？家にいろ」「もう寝ろ」と心配してくれる。私は、そんな風に「今、生きていて欲しい」と



育てられたから、とにかく「今を楽しむこと」を大切にしている。

今の日本の人口は、1億3,000万人くらいだけれども、これからは人口が減って、みんなが50歳くらいになる2050年には、昭和30年と同じくらいの9,000万人になると言われている。人口が減っていく社会は、誰も経験をしていないから、何が正解か誰にも分からない。これまでは、みんな富士山の頂上の1点を目指して、せっせと走ってきたけれど、これからは富士山を下りていく。下りていく場所は、1カ所ではなく、麓は360度、広がっている。どこに下りていくのが正解かは誰にも分からない。そんな時代は、これまでの早く、効率的にやることが評価される価値観がガラリと変わるはず。だから、今までの価値観、モノサシで自分を評価することなく、「みんな必要とされている」「自分は必要とされている」と自信を持ってほしい。

私は、中学3年生のとき、高校に行くつもりはなかったんだけど、当時好きだった女の子が、高校に行くというので、12月頃に親に「高校に行かせてほしい」とお願いをして、必死に勉強して、好きな子と同じ高校に入った。自分が「こうしたい」「こうなりたい」と強く願えば、それに向かって努力し、叶えることができると思っ

ているよ。
みんなにも今、好きな子がいるでしょう。人を好きになることや、今しかできないことを大切にしたい。

質問

なぜ、給食のパンの回数は減ったのですか？

市長

長野県上田市で、お米の給食の良さを広めている学校の先生と話す機会があって、パンよりもお米の方が、添加物が少なかったり、アレルギーを持っている子が少なかったりしていいなと思って、ご飯の日を増やすようにした。だから、おかずも、今日の給食のようにご飯に合うものが増えていると思う。



この日のメニューは、さばの銀紙焼き、さわにわん、ごぼうサラダ、ご飯、牛乳でした。

最後に、みなさんにお願ひがあります。

昨年、愛知県は、泥棒の被害数が、全国ワーストワンで、長久手市でも、たくさんの被害がありました。今年、年が明けてまだ日が浅いけれど、毎日のように市内で泥棒の被害が発生している。

こうした泥棒の被害を減らすのには、あいさつが効果的と言われています。泥棒は

顔を見られたり、声を掛けられたりすることを嫌がるので、ぜひ、みんな、通学途中に道ですれ違う人にあいさつをして欲しい。ぜひ、協力してください。

また、2050年の長久手は、どんな長久手市になって欲しいか、ぜひ、私に聞かせてください。受験勉強で忙しい時期だとは思いますが、簡単でいいので、書いて先生に渡してもらえると嬉しいです。

～市長の話を聞いて～

市長が言う「今しかできないことを大切にしたい」という思いは、私たち大人にこそ、言えることだと思っています。先の心配ばかりしている大人が、子どもたちを不安にさせているのかもしれない。私たち大人が、「今しかできないこと」「今だからできること」、そして「今を楽しむこと」を大切にできる心を持てるようになれば、子どもたちも、毎朝起きたときに「今日も元気に頑張ろう」という気持ちになるのではないのでしょうか。

私自身、今から老後の生活を心配してばかりですが、老後を迎えられるほど長生きができる保証はありません。「今」を大切に「今できること」を一つずつ実践していくことが、充実した人生を送る第一歩なんだと感じました。

給食は、ご飯と銀紙焼きの味噌の相性がピッタリで、とても美味しくいただきました。生徒によると、「今日の給食は、（美味しいから）アタリだよ」とのことでした。

北中学校のほかに、長久手中学校、南中学校でも同様に給食を食べながら懇談を行いました。ほかの中学校では、「話す相手の目を見て、うなずくことが大切。話している人は、うなずいてもらえると、“この人は、私の話を聞いてくれている”という自己肯定感を持つことができる。友達との関係でも同じ。良い友達を作るには、話をよく聞き、じっと目を見てうなずくことが必要。これから様々な人と出会って、友達になって、様々な人から知恵をもらってください。」という話をされました。

◆訪問日 長久手中学校…1月19日（月）1年生

南 中学校…1月22日（木）3年生

北 中学校…1月23日（金）3年生